

職員の幸せを

イ) 敢えて二兎を追う

めったにありえないような有難いえにしに結ばれて、このさわらび会で出逢うことのできた、ご利用者と職員の双方が、ともに幸せになれるようにしたいと、私はいつも考えています。

患者さん第一、ご利用者第一が、病院や福祉施設のモットーであることは当然ですが、私は同時に、ここで働く職員も幸せでなくてはならないと考えているのです。

職員にとってここで働くのは、人生のほんのごく一部かも知れませんが、たまたま、ご縁があって、このさわらび会で働いて下さる彼らにとって、ここで働いてよかった、さわらび会で働いている間に人間として成長できたと感じていただけるようにしたいと願っているのです。